

## 少女雑誌の部屋から

今年度は少女雑誌や挿絵画家について深く掘り下げてご紹介しよう！と目標をたてて毎月のおたよりを作成してまいりました。調査するにあたっては、書籍や雑誌、インターネットの情報などを参考にしておりますが、古いものについては時折誤ったものも含まれており、それを見極めるのはたいへん難しいことだなあと実感しております。まだまだ未熟ではありますが、引き続き少女雑誌の魅力が伝えられるような内容にできたらと考えております。さて、今月は明るく楽しい少女雑誌『少女』を特集いたします。少女たちはどんなところに魅力を感じていたのでしょうか。

## 少女

光  
文  
社

読者の少女たちの楽しみ・遊びに基本を置く編集で、映画紹介などのグラビアを巻頭に、久米正雄、サトウ・ハチローらの少女小説が多く掲載され、豪華なふろくも魅力のひとつだった。読者たちの顔写真を掲載する「愛読者アルバム」のコーナーも設けられていた。長谷川町子の「仲よし手帖」や倉金章介の「あんみつ姫」などのマンガも人気を呼んだ。また、戦前『少女の友』に連載された松本かつぢの「くるくるクルミちゃん」も引き継いで連載。後にマンガと芸能記事が大半を占めるようになっていく。

創刊 1949年2月号  
終刊 1963年3月号

人気少女タレントの松島トモ子が誌面や表紙等で活躍した。

## 『少女』で活躍した少女スターたち

## 松島 トモ子 (マツシマ トモコ) 1945-

旧満州(現中国東北部)生まれ。4歳の時にニュースで“豆バレリーナ”と報じられたのがきっかけで、昭和24(1949)年に芸能界入り。以来、人気子役として活躍し、約80本の映画に主演。昭和28年10月号～昭和35年3月号の6年5か月ににわたり『少女』の表紙モデルを務めた※。昭和33年には松島トモ子を集めた「少女 松島トモ子増刊」が発売さるほどの人気ぶりだった。

※この時期以前にも単発で表紙絵のモデルを数回務めている。昭和35年3月号には4月から中学生になるので表紙を交代する旨の記述あり。

## 鰐淵 晴子 (ワニブチ ハルコ) 1945-

音楽家だった父親の影響で3歳の頃からヴァイオリンを習いはじめる。家族で演奏旅行をしている最中に、少女雑誌の編集者にスカウトされ『少女ブック』のモデルとしてデビュー。当時は「天才少女ヴァイオリニスト」と騒がれた。昭和27年、「母子鶴」で映子(配役:若尾文子)の少女時代を演じて映画初出演。昭和30年、映画「ノンちゃん雲にのる」では主役を務め、一躍人気者となった。

『少女』や『少女クラブ』のグラビアなどでも活躍した。

ふ  
ろ  
く  
い  
ろ  
い  
ろ昭和25年1月号ふろく  
「12ヶ月抒情カレンダー」表紙絵/松本かつぢ昭和26年10月号ふろく  
「お勉強に役立つ筆立」絵/松本昌美昭和27年12月号ふろく  
「昭和28年ベビー日記」絵/露谷虹児昭和33年3月号ふろく  
「かわいい手帳8冊」絵/藤井千秋